



2026年5月13日

各 位

会社名 株式会社 旅工房
代表者名 代表取締役社長 小林 祐樹
(コード番号：6548 東証グロース)
問合せ先 執行役員 田村 健二
E-mail：ir@tabikobo.com

通期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績動向等を踏まえ、2026年2月13日付「通期業績予想の修正に関するお知らせ」にて開示した2026年6月期（2025年7月1日～2026年6月30日）の業績予想を下記の通り修正することとしましたので、お知らせいたします。

記

1. 当期の連結業績予想数値の修正（2025年7月1日～2026年6月30日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想（A）	5,287百万円	△40百万円	△41百万円	△22百万円	△1円11銭
今回修正予想（B）	4,741百万円	△171百万円	△169百万円	—	—
増減額（B－A）	△546百万円	△131百万円	△128百万円	—	—
増減率（％）	△10.33	—	—	—	—
（参考）前期連結実績 （2025年6月期）	3,722百万円	△111百万円	△108百万円	△767百万円	△38円86銭

2. 修正の理由

当社グループの海外個人旅行事業において、2026年2月末に発生した中東地域の情勢悪化による影響を受けて、業績予想に修正が生じております。

同事業の主力方面である、中東地域を目的地または同地域を経由し欧州を目的地とする3月以降出発旅行の催行中止に伴う約4億円の想定売上の減少に加え、燃油価格高騰を嫌気した消費者の旅行控えに伴う受注低下に伴い、前回発表時に見込んでおりました売上高を546百万円下回る見込みとなりました。営業利益、経常利益につきましては、上記売上減少に伴う粗利額の減少がありましたが、人件費、広告費、支払手数料等のコスト節減施策による販売管理費の圧縮を約0.4億円見込んでおり、結果として前回発表時の見込みをそれぞれ131百万円、128百万円下回る見込みとなりました。

以上の状況を踏まえ、通期の連結業績予想を修正するものであります。

なお、当社は、金融庁から開示規制違反に係る課徴金の納付命令を受ける可能性があります。現時点において、その発生時期および金額の合理的な見積もりが困難であるため、親会社株主に帰属する当期純利益及び1株当たり当期純利益の業績予想は未定としております。

3. 今後の見通し

現時点において、中東情勢の収束時期は不透明であり、旅行需要の回復時期についても慎重に見極める必要がある状況です。当社といたしましては、引き続きお客様の安全確保を最優先としつつ、需要動向に応じた柔軟な商品展開および販売戦略の見直しを進め、業績の回復に努めてまいります。

なお、今後の情勢の変化により、業績予想に修正が必要となった場合には、速やかにお知らせいたします。

以上